

(別 紙)

令和5年度 動物愛護管理功労者大臣表彰の受賞者

受賞者	さの あきひこ 佐野 明彦 (69歳) 高知県 (公社) 高知県獣医師会 会長
功績概要	<p>○ボランティアが行う猫のTNR活動に協力し、年間100頭以上の飼い主のいない猫に対して休診日を活用し不妊去勢手術を集中的に実施することで殺処分対象となる不幸な猫の削減に努めるとともに、県に收容された負傷動物の治療に尽力</p> <p>○平成23年に発生した東日本大震災時に石巻市にて獣医師としてボランティア活動に従事。その後、災害時獣医療派遣チーム(VMAT)の受講を終了。県が主催する、ペットと災害を乗り越えるための講習会講師を務める等、ペットの飼い主の防災意識向上を目的とした活動を実施</p>

受賞者	とりうみ ひろし 鳥海 弘 (70歳) 神奈川県 (公社) 神奈川県獣医師会 会長
功績概要	<p>○会長就任後、神奈川県との間で「災害時における動物救護活動に関する協定書」(平成29年度)、「神奈川県が保護した犬、猫等に対する獣医療の連携に関する協定書」(令和元年度)をそれぞれ締結。締結にあたって、本会代表として事前調整段階から積極的に県と意見交換を行い、実効性のある協定とするため調整に尽力</p> <p>○特に「神奈川県が保護した犬、猫等に対する獣医療の連携に関する協定書」については、国内でもあまり例のない、県が保護をした犬、猫等の譲渡を促進するため、獣医師会会員による診断や治療等の直接的な協力を行える体制を確立し、神奈川県の犬猫殺処分ゼロに大きく貢献</p>

<p>受賞者</p>	<p>ふなつ としひろ 船津 敏弘 (66 歳) 福岡県 動物環境科学研究所 所長 (公社) 福岡県獣医師会 元理事</p>
<p>功績概要</p>	<p>○飼い主のいない猫の不妊去勢手術を行う「あすなる猫事業」を創設し、次の取組に尽力 (1) (財)福岡県動物愛護センター等から譲渡される犬猫の不妊去勢手術及び健康チェック (2) 公的機関(保健所等)に持ち込まれた子犬・子猫を産んだ親犬・親猫の不妊手術 (3) あすなる猫(いわゆる地域猫)に対する不妊去勢手術の実施</p> <p>○東日本大震災では発生4か月後に福島警戒区域動物救援獣医師チームの一員として取り残された動物救援プロジェクトに参加し、福島第一原発から20km圏内の犬猫を探し、確保等に貢献 県獣医師会災害時動物救護対策では災害時獣医療派遣チーム(VMAT)の育成活動に取り組み、現在では約60名を超える隊員を認定、平成28年の熊本地震では福岡VMATを発生地に派遣し支援活動を実施</p>